



今年も残すところあとわずかとなり、各学校におかれましては、学期末のまとめなどで、慌ただしくされていることと思います。

毎年 12 月 12 日（「漢字の日」）には、その年の世相を表す一字が発表されています。昨年は、「輪」が選ばれました。皆様の一文字は何になるのでしょうか？次年度への期待も込めて、希望のある文字を選びたいものです。

## 丹波地域の学力向上を目指して

さて、丹波教育事務所では、丹波地域の子どもたちの学習意欲の向上をめざし、11 月 8 日（土）に第 4 回「たんぼっ子！学びフェスタ」を実施しました。漢字や算数のおもしろ問題に挑戦する「チャレンジ漢Q&算Q」や「おもしろワークショップ」を開催し、子どもが自ら学ぶ楽しさや切磋琢磨する体験の機会を提供し、丹波地域を支える人づくりを推進しています。県内では、唯一この丹波地域だけで行われているフェスティバルです。

本年度は、小学生と高校生の異年齢交流を更に深めようと、県立高等学校からのワークショップの出店や、高校生によるフェスティバルの進行などを充実することが出来ました。また、保護者チャレンジャーを募集したところ、「子どもたちと一緒にチャレンジしたい」「小学校でどんな勉強をしているのか知りたい」と、22 名の皆様にご参加いただきました。

（当日の様子や問題については、丹波教育事務所HPに掲載しています。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~tanba-bo/>

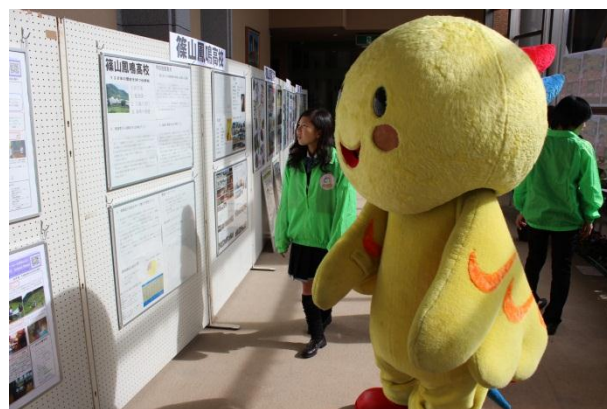
地域や保護者の皆さんの学力向上に対する関心の高さを感じた 1 日でした。



チャレンジQの様子



ワークショップの様子



各県立校等学校の魅力ある取組

今回は、当日の「チャレンジQ」の解答から見る丹波地域の児童の状況について、お知らせします。

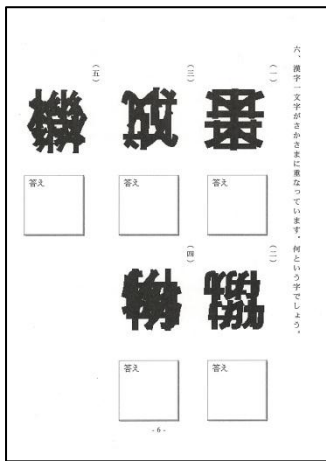
漢Qは、基礎基本となる既習漢字の「読み・書き」「書き順」の問題、漢字に関係することわざ、四字熟語、地名などの知識を問う問題、漢字パズル、漢字クロスワードなど、ひらめきや活用力を問う問題等、学習意欲の向上に視点を当てて問題を作成しました。これらの要素の入った特徴的な問題を次に示し、正答率から児童の状況を分析しました。

①②の問題のように、普段、生活によく出てくる熟語の読み書きの問題については、正答率（90%以上）が高く、③④の問題のように、学習用語や抽象的な熟語については、正答率（15%未満）は非常に低い結果となっています。

しかし、高学年になるにしたがって、漢字の読み書きについては、普段使わない熟語についても正答率（80%以上）が高くなっていました。

これらは、各学校における取組の成果であるとともに、児童の発達段階による抽象的な思考が高まり、漢字の意味と文字の成り立ちが結ばれやすくなったものと考えられます。4年生で、全国の都道府県名とその位置を覚えたりするのも、発達段階を意識した内容となっているのです。

④ ( ) どりよく ( ) が大切 (四年生)	③ ( ) くとうてん ( ) をうつ (三年生)	② 篠山口 ( ) えき ( ) (四年生)	① ( ) こうてい ( ) で遊ぶ (三年生)
---	--	------------------------------------	---



左の問題は、4年生で習う漢字一文字を逆さにしてかさね合わせたものです。児童のひらめきによって答えを探すクイズ的な問題です、ここでは、正答率は、二極化していました。事後の児童アンケートから分かったのは、出来なかったことで、いやになってしまうのではなく、来年、もう一度問題にチャレンジしたいと思う児童が多いことです。児童は、「学びたい」「分かりたい」と思う力が、大人が思う以上に強いのではないかということです。教育に携わる者は、児童のこの力を信じて取り組まなければなりません。

算Qは、試行錯誤しながら解決する問題、学校での学習内容だけでなく生活や地域や社会とのつながりの中で考える問題、また楽しみながら解決を図る問題等、学習意欲の向上に視点を当てて問題を作成しました。特に課題のある問題を次に示し、児童の状況を分析しました。

午前9時40分の30分後は、何時何分ですか。（正答率30%）

2年生の時間の問題です。時刻と時間の関係が理解できていない児童が多くいました。生活場面への発展的理解が必要です。普段の生活で、繰り返し児童に問いかけ、生活化した

いものです。

右の問題は、大きな数の計算能力とともに旅行往復のイメージを持ちながら、「中学生がおとな料金である」という社会的知識も必要な問題です。解答用紙からは苦勞のあとが伺えましたが、正答には至っていませんでした。保護者チャレンジャーからは、「中学生が大人料金という常識がありませんでした」というコメントもいただきました。

篠山口駅から城崎温泉駅までの家族4人の旅行費用を求める問題（正答率0%）